

事業所名

放課後等デイサービス しろくま2

支援プログラム

作成日

6 年

7 月

19 日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|------|----|------|---------|----|--|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 「楽しい」を通じて「生きる力」を育てていきます。 利用者もスタッフも共に「楽しみながら成長」できる場所を目指します。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 「また来たい」「もっと来たい」と思ってもらえる場所を目指します。 身体を動かして楽しく活動します。 自発的に行動できる力を身につけます。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 10 時 | 00 分 | から | 17 時 | 00 分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 利用者の健康状態をチェックし、無理のない活動をしてもらえるよう支援します。 身の回りのことを自分で出来るようになるためのサポートや練習をします。 体験活動や外出活動を通じて興味や好奇心をもってもらい、生活をより豊かに出来るような活動を提供します。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動を通じて心身の成長を促します。基礎体力や体幹を鍛えることにより、集中力や自己肯定感の向上を目指します。 身体を動かすことによるストレス発散効果で、アンガーマネジメント能力を高めます。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 環境から情報を取得し、そこから必要な情報を選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮します。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | コミュニケーションの中での話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 運動のルールを守ることで、集団の中で必要なマナーや社会性を身につけられるよう支援を行います。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | スタッフや他の利用者を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 連絡帳にて日々の様子をお伝えします。 必要に応じて、相談援助や面談を行います。 茶話会を開催し、保護者同士の交流を促します。 | | | | 移行支援 | | 利用者及び保護者の許可を得て、移行先への情報提供を行います。 担当者会議へスタッフが参加し、好事例や課題について共有します。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 学校や併用利用先等の関係機関と連携し、情報の共有を図ります。 | | | | 職員の質の向上 | | 資格取得を奨励し、勤務シフトの調整や資格取得費用を援助します。 スタッフミーティングにおいて、問題点のみならず好事例についても共有します。 | | |
| 主な行事等 | | 節分、七夕、夏祭り、ハロウィンパーティー、バースデーパーティー 等 | | | | | | | | |